

「幼保小連携だより」

育ちと学びをつなぐ

酷暑の8月が過ぎましたが、まだまだ暑い日が続いております。子どもたちは、暑い中でも、夏ならではの貴重な体験を積むことができたことと思います。

年度後半にかけては、安心して入学を迎えられるように、子どもの交流に加え、職員連携を深めていきたいものです。今回は、夏の期間に行われた研修会や研究会の様子を紹介します。

幼保小教育連携研修会

全体会 7月24日 新都市ホール 分科会 7月25日 ウイリング横浜

全体会

講演 「学びに向かう力を育む保育・教育」

講師：白梅学園大学大学院特任教授 無藤 隆 先生

連携研修会は、1日目781人、2日目767人のべ1,548人の方々
が参加され、充実した2日間になりました。ご参加いただきありが
うございました。

全体会の、無藤先生の講演は、「学びに向かう力を育む保育・教育」
～今後の幼児教育、そのポイント～と題し、幼児教育と小学校以降の教
育をつなぐ内容で、大変好評をいただきました。

無藤先生ご講演メモ



○幼児教育と小学校以降の教育

- ・学習指導要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の改訂が行われました。
- ・幼児教育と小学校以降の教育で育てたい3つの資質・能力を意識することが大切です。

○幼児教育

- ・幼児教育も資質・能力の育成を目指しています。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)は、幼児期の活動全体を通して資質・能力が育まれている年長
修了時の具体的な姿であり、保育者が指導を行う際に考慮するものです。
- ・10の姿の語尾は、「～ようになる」と表現されていて子どもの姿を現しているもので、到達目標ではありません。

○乳児保育

- ・乳児保育に関わるねらいや内容を理解して保育の充実を図ります。
- ・保育の見直しのポイントは、保育者による直接的な関わり方と環境を整える関わり方があります。

○幼児教育と小学校教育の接続

- ・園では、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにします。
園での生活を通して育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう「幼児期の終わりまでに育
ってほしい姿」を共有するなどの連携を図るよう努めます。
- ・小学校におけるスタートカリキュラムは、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施
し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことを可能にすることが大切です。

参会者の声

- 乳児期からの積み重ねが、小学校までつながっていること、どの時期においても子どもたちが主体的に能動的に過ごすことが大切だということが分かりました。
- 講演を聞き、研修で学んでいることではありますが、保育の道筋を改めてしっかり整理できました。学校につないでいく土台となる力を育てるための大切な時期としての意識を今まで以上にもち保育していると思いました。
- 保育の一コマを事例として話してくださり、より10の姿と関連付けて想像でき分かりやすくとても身になるお話でした。
- 乳幼児期は、環境を通して行われる保育・教育で子どもたちの育ちを高めていくというお話が印象に残りました。

実践報告・シンポジウムから

無藤 隆先生 渡邊 英則先生(ゆうゆうのもり幼保園) 本田 俊章先生(つくの幼稚園)
角野 智美先生(横浜市松見保育園) 山本 かおる先生(横浜市太尾保育園)
益田 正子先生(横浜市立鶴見小学校) 溝口 晴野先生(港北幼稚園)
久島 拓也先生(横浜市立鶴見小学校)

横浜版接続期カリキュラム改訂ポイントについての事務局説明後、小学校、保育園、幼稚園それぞれの実践報告で子どもの育ちと学びの様子を伝えていただきました。小学校がスタートカリキュラムの実践により変わってきていること、保育園からは0歳児から学びが始まっている姿を伝えていただき、幼稚園からは、年中児の遊びが広がる事例を報告していただきました。最後に年長児が運動会の種目に真剣に取り組む姿を、動画を交えて報告していただき、多くの参会者の皆さんに感動を与えました。

実践報告に引き続き、シンポジウムでは、講師の無藤先生も交え、0歳児からの育ちは人としての基盤を作ることや幼児期の子どもの学びは、小学校のための学びではなく子どものための学びであり主体的な学びであること、小学校では、幼児期の終わりまでに育てたい姿を踏まえて学びをつないでいくことについてお話をいただきました。最後に参会者の皆さんに無藤先生より、学びに向かう力を育む保育・教育の実践へのエールをいただきました。



参会者の声

- 実践報告では、どの園も学校も子どもたちの「主体性」が保障されていたことが印象的でした。保育者がきちんと「子どもの育ちを見る目」をもっていなければと改めて身の引き締まる思いでした。
- 小学校では、一年生に対して環境に早く慣れることができるように、主体的に活動できるようにと考え工夫されていて、園での入園・進級の際の保育士の思いと重なることがあり勉強になりました。また、保育園の先生のお話を聞き、0歳～2歳までの子どもの経験や育ちに触れることができました。
- 幼稚園で子どもが試行錯誤していくことが興味深く、上手にこなせてしまうよりも上手いいかないことをどうやって乗り越えていくかという過程が子どもの育ちを作ることを改めて感じました。
- 歴史ある幼保小の活動が、毎年進化していることを感じます。校長や園長のもつ姿勢や職員への働きかけの大切さを感じ自分を振り返ることができました。将来を見通した関わりを職員と一緒に考えて実践していきたいと思います。

「横浜版接続期カリキュラム平成29年度版 育ちと学びをつなぐ」

全体会でも改訂のポイントをお知らせした、横浜版接続期カリキュラムは、市庁舎1階刊行物サービスコーナーで1冊500円にて絶賛発売中です。



推進地区や区交流事業の研修会



西区教育交流事業 稲荷台小学校 公開授業研究会 7月10日(火)
授業を通して子どもの育ちと学びを語り合う

西区では、毎年小学校が公開授業研究会を行い、幼保の先生方と小学校の先生方が子どもの育ちと学びを語り合っています。今年は稲荷台小学校の1年生が国語と算数の授業を公開し、多くの先生方が参観しました。わずか4か月での卒園した子どもたちの成長に驚きの声があがっていました。何より卒園した子どもたちの成長を喜ぶ先生方の姿が印象に残りました。また、普段とは違う視点から子どもの育ちを見ることができた小学校の先生方にとっても学びの大きい会となりました。子どもたちだけで、話し合いを進めたり、集中して取り組んでいる姿から、「幼保の頃から指導してきたことが活かされていてうれしい」という声が聞かれ、指導はつながるということを実感しました。



緑区教育交流事業 Aブロック研修会(長津田・いぶき野地区) 7月23日(月)
幼稚園、保育園、小学校 114名参加



小学校の夏休みになってすぐに、小学校3校、幼稚園2園、保育園15園が集まりAブロック研修会が行われました。会場は、ながつた幼稚園の講堂で、114名の先生方が参加しました。緑区は、7つのブロックに分かれ、各ブロックの研修会を充実させる取組に重点を置いています。Aブロックは、「スタートカリキュラムとアプローチカリキュラム ～スムーズな接続を図るには～」というテーマで取り組んでいます。こども青少年局幼保小連携担当からの講演、幼・保・小(7園校)の実践報告、グループワーク、グループ協議(スタートカリキュラムを視点にしながら)と、盛りだくさんでした。グループワークでは、幼保実践報告の中の写真を提示して、その取組からどんな力が育つか出し合ったり、10の姿を示したシールを貼って、子どもの育ちと学びを話し合ったりしました。

約2時間の研修でしたが、時間を忘れて研修が進められました。参加者の先生方の発言や笑顔が多く、活気に満ちた研修会でした。



推進地区事業 旭区 東希望が丘地区合同研修会 7月27日(金)
つくの幼稚園、認定こども園やつはしキッズハツ橋幼稚園、中尾保育園
認定こども園希望が丘幼稚園希望が丘保育園、つぼみ保育園、東希望が丘小学校

推進地区の1年目ということもあり、推進地区事業の目的や内容の理解、見通しをもつこと、「顔の見える関係づくり」を進める機会という目的で研修会が行われました。最初の、アイスブレイクでの、「うちの園、学校の自慢!」から始まりましたが、グループワークでも、たくさん実践や子どもたちの様子の話が出てきました。各園の年長児の様子や特色、スタートカリキュラムの様子の理解が深まりました。近くの園校でも、知らないことが多いということが認識されたように感じました。これからのつながりがどう広まったり、深まったりするか楽しみになりました。



平成30年度 幼稚園新採用教員研修会 8月2日(木)・3日(金)

300名余の幼稚園、認定こども園の新採用者が、熱心に研修に取り組みました。

■1日目

全体会・シンポジウム
先輩の話「今、伝えたい私の保育」
グループディスカッション
「一学期の実践を振り返って」

■2日目

実技研修「表現しようとする意欲を受け止めて」
A リズム いろいろな音遊びを楽しもう
B 身体表現 遊び心をみがこう
C 造形 人とのつながりの中で表現しよう
D 自然 身近な自然と親しもう



日々の保育で見つけた「子どもの素敵な姿」の写真を持ち寄り写真を見せながらエピソード等を話しました。その後、模造紙に写真や保育の楽しみ、悩み等を書き込み、ポスターセッションの時に掲示をして発表しました。

造形での活動の様子です。お花紙をちぎり、それをうちわで扇いで楽しみました。美しく、ダイナミックで楽しい活動でした。

新採用教員のアンケートより

- 今は余裕がないのですが、少しずつ子どものささいなつぶやきを拾って、子ども一人ひとりの気づきを皆の学びにできるような関わりができるようになりたいです。
- 事例を聞いて、客観的に見ると思いがけない観点がでてくることが、とても新鮮でした。日々の保育でも、一歩引いて見ると違って見えると感じました。

お知らせコーナー

研修名	日時・場所	内容
第2回 接続期研修会	10月25日(木) 15:00~16:45 神奈川公会堂	新任児童支援専任教諭の研修と合同開催 講師 戸塚地域療育センター ピース東戸塚園長 中村 泉先生
保護者と共に 育ちと学びをつなぐ 幼保小連携フォーラム	12月15日(土) 13:00~16:00 サルビアホール (鶴見区民文化センター)	報告 幼・保・小の実践報告 発表 推進地区2年目・3年目ポスター発表 講演 「学びに向かう力を育む保育・教育」(仮) 講師 國學院大学 教授 田村 学先生

※詳細は後日ご案内します。保育・教育人材課のホームページをご覧ください。